

神奈川県立図書館主催展覧会

AN ENCHANTED FOREST

おとぎ話の森

会期 2014年11月17日(月)～2015年3月28日(土)

会場 神奈川県立横浜キャンパス図書館 (学外の方も無料でご入場いただけます)

展示品 神奈川県立図書館蔵書他約40点+鴻池朋子原画2点(「狼頭巾」は12月9日から展示)



ギュスターヴ・ドレ画「赤ずきん」
(1867年)



鴻池朋子「狼頭巾」
『いま読むベロー「昔話」』工藤庸子
訳・解説より挿画(2013年)



鴻池朋子「まっすぐにむかってくる たくさんの
いきもの 葉のおいがする」
絵本『みみお』より(2001年)

関連企画 (すべて無料でお申し込みは不要です。開始時間までに会場にお越し下さい。)

- 朗読+ライブ+トーク 「赤ずきん」の森・ことば・おと
出演 工藤庸子(仏文学者)+小島ケイタニーラブ(音楽家)+伊藤豊(音楽プロデューサー)
日時 2014年12月13日(土)15:00～17:00
会場 神奈川県立横浜キャンパス図書館 地下1階 視聴覚小ホール
- 講演会 メルヘンの森
講師 巖谷國士(仏文学者・評論家)
日時 2015年1月10日(土)15:00～16:30
会場 神奈川県立横浜キャンパス 3号館3階306講堂
- 演劇パフォーマンス 赤ずきんの森
作・演出・出演 神奈川県立劇団「河原乞食」+村井まや子研究室有志
日時 2015年2月2日(月)・3日(火)17:30～18:00
会場 神奈川県立横浜キャンパス図書館 地下1階 視聴覚小ホール

お問い合わせ 神奈川県立図書館 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 電話 045-481-5661
協力 鴻池朋子 共催 神奈川県立大学人文学研究所 神奈川県立大学人文学会
企画・監修 神奈川県立大学外国語学部教授 村井まや子

🍎 展覧会趣旨

「赤ずきん」、「白雪姫」、「眠れる森の美女」、「ヘンゼルとグレーテル」など、世界中の多くの人々に親しまれているおとぎ話には、森が舞台となっているものが数多く存在します。現実世界の法則に支配されない、非日常の空間としてのおとぎ話の森は、大人になってからも、いつまでも私たちの心をとらえ続けます。

この展覧会では、森にまつわるおとぎ話を、四つの章——「物語空間としての森」、「森の住人」、「森の生きもの」、「森の一軒家」——に分け、十九世紀から現代までの視覚的イメージを手掛かりにして、おとぎ話に描かれる森と人との交わりについて考えます。アーティストの鴻池朋子が、日比谷の森と街を舞台に展開するアート・プロジェクト「都市と森の境界に現れるアート」の関連企画として開催されるこの展覧会では、現代の都市に暮らす私たちの意識に深く根づいた森に対する文化的イメージを、物語的想像力における森を通して探ります。

赤ずきんが脇道へ逃れることをかくく禁じられた森は、「赤ずきん」の物語の魅力そのものでもあります。十九世紀フランスのギュスターヴ・ドレによる「赤ずきん」の挿画は、森の中で「道から逃れる」ことへの誘惑を暗示しています。「赤ずきん」をモチーフにした鴻池朋子の《狼頭巾》と『みみお』は、ロマン主義的な森へのあこがれをつき抜けたその奥の、森とのまじわりがもたらす驚くべき感覚の世界へと見る者をいざないます。

おとぎ話の森へ、ようこそ。

🍎 関連シンポジウム おとぎ話とアート～森をあとにして

日時 2014年11月28日(金) 18:30～20:30
会場 千代田区日比谷図書文化館コンベンションホール (入場料 500円)
登壇者 鴻池朋子、巖谷國士、村井まや子
申し込み先 日比谷図書文化館 電話番号：03-3502-3340 メールアドレス：college@hibiyal.jp
詳細は Facebook ページ (www.facebook.com/re.hibiya/) をご覧ください。

🍎 神奈川大学までのアクセス



東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13分

●横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用の場合 (東神奈川駅西口経由)

【1番乗場 36 系統】菅田町 / 線車庫行-約 14分 - 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

【1番乗場 82 系統】八反橋 / 神大寺入口行-約 14分 - 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

●片倉町駅前 (横浜市営地下鉄) より横浜市営バスを利用の場合

【2番乗場 36・82 系統】東神奈川駅西口 / 横浜駅西口行-約 6分 - 「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車